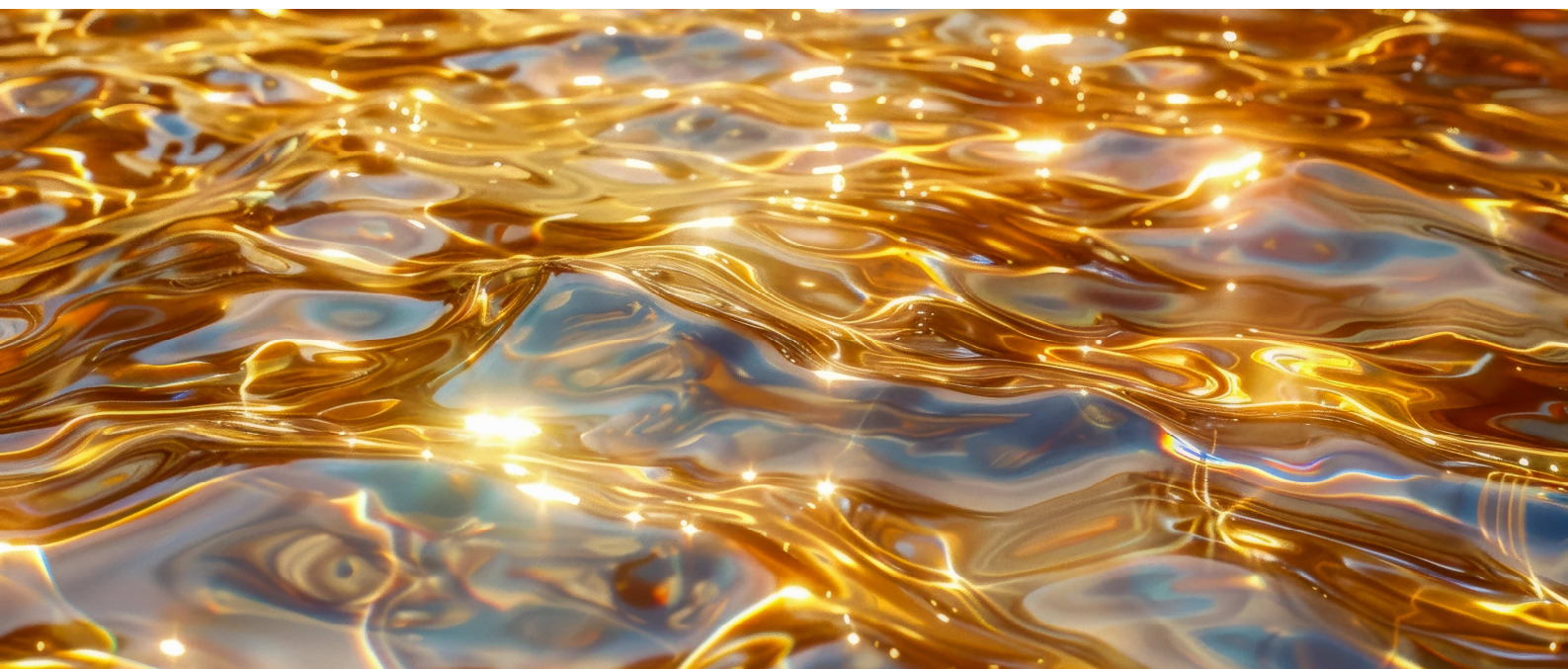


ニューロンのダンパ (大口径バルブ)



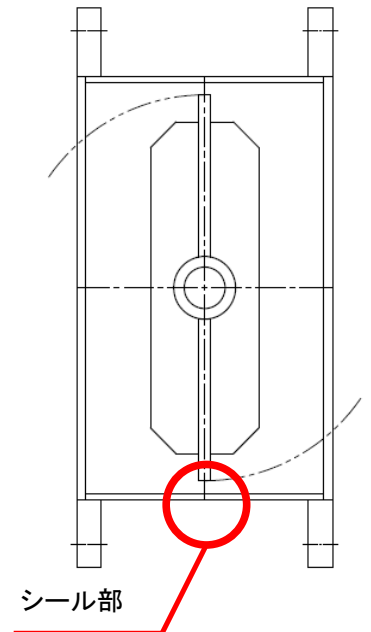
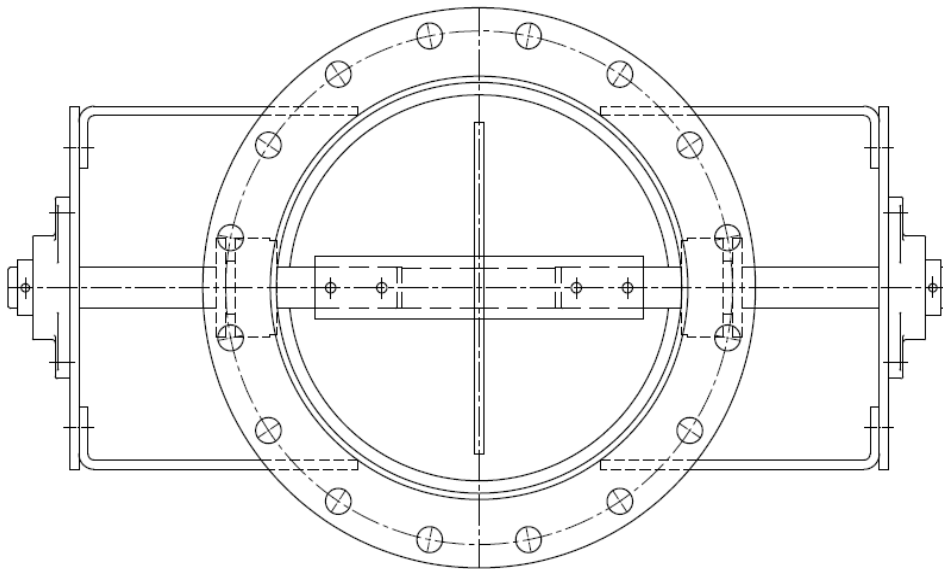
バタフライ型

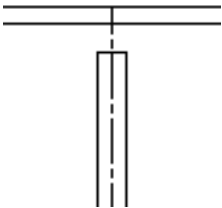
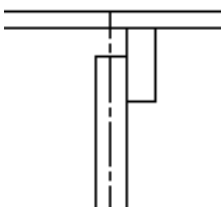
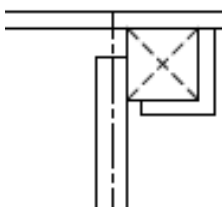
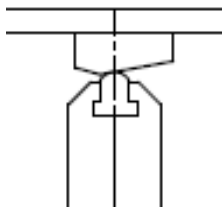
バタフライダンパ

【WA-DB型】

■ 特長

最も一般的なダンパ、流体のON-OFF、コントロール用として使用されます。
 胴体、羽根、軸、グランド部、シール部、駆動部から構成されるシンプルな構造です。
 羽根を0～90°回転させることで、流量のコントロール、締め切りが可能となります。
 全閉時の許容リーク(漏れ)量に応じて、シール部を選択できます。
 鋼板製溶接構造のため、用途にあわせて最適な形状(丸形、角型)、寸法、材質が選べます。
 1枚羽根や複数羽根(ルーバー型)、駆動方法は、手動、空動、電動などに対応しています。



開放型	ステップシート型	シートパッキン型	密閉型
			
基本形状	金属製のシートを設置する事で、開放型に比べ全閉時リーク量を抑える。	パッキンを使用しシールする事で、ステップシート型よりさらに全閉時リーク量を抑える。	シール材にゴムを使用する事で、全閉時リーク量はゼロに近い。 ※流体温度が100℃程度までと、仕様条件が限定される。



手動式バタフライダンパ



手動式バタフライダンパ(ウエハータイプ)



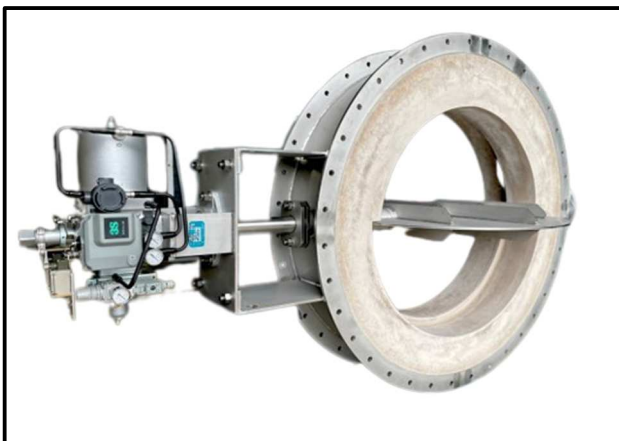
空動式バタフライダンパ



空動式バタフライダンパ
(ルーバータイプ)



電動式バタフライダンパ
(ルーバータイプ)



空動式バタフライダンパ
(キャストブルタイプ)



電動式バタフライダンパ
(密閉タイプ)

フラップ型

フラップダンパ

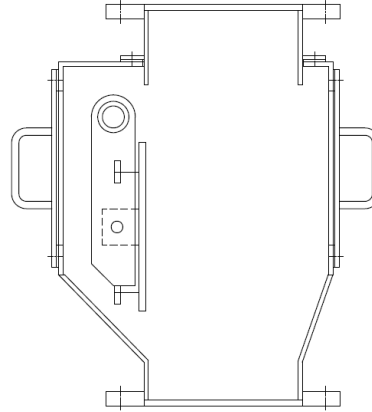
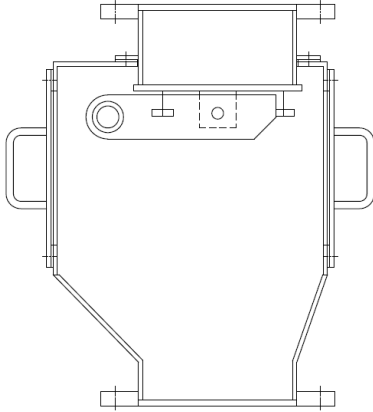
【WA-DF型】

■ 特長

焼却灰や粉体、ゴミ粉碎物などの流体を上流側から下流側へ定量排出する為に使用されます。

全閉時のリーク(漏れ)量の条件により、シール部を選べます。

また、上下に並べて設置することで、上流側の圧力変化を最小限に抑え、効率的に排出させることができます。



空動式シングルフラップダンパ



空動式ダブルフラップダンパ



空動式ダブルフラップダンパ



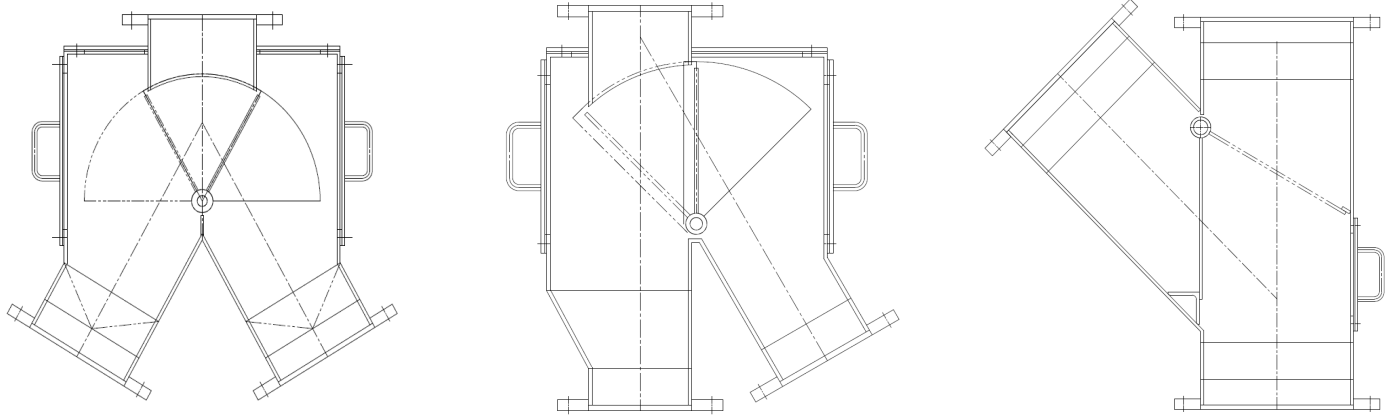
電動式ダブルフラップダンパ



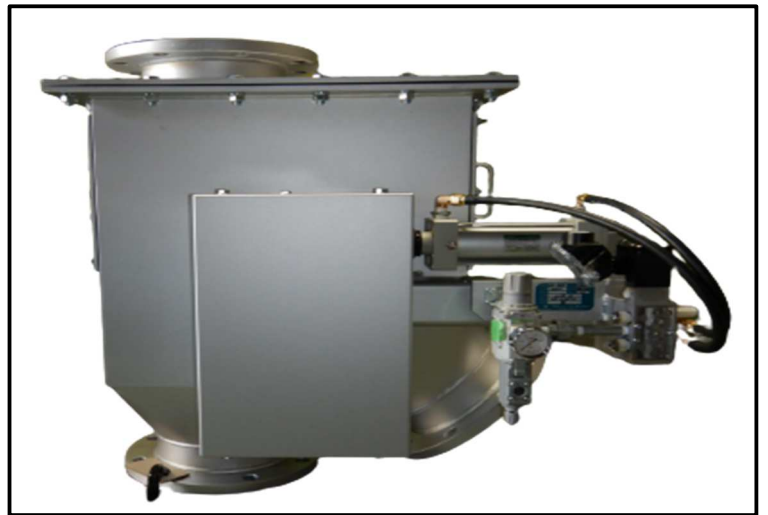
電動式ダブルフラップダンパ

分岐型
分岐ダンパ
【WA-DD型】
■ 特長

粉体や固形物などの流体方向を変換するために使用されます。分岐角度は30° 45° 60° などが選べます。



空動式分岐ダンパ



空動式分岐ダンパ

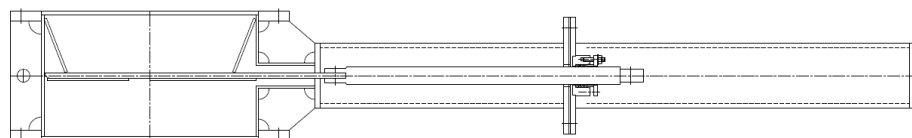
スライド型

スライドゲートダンパ

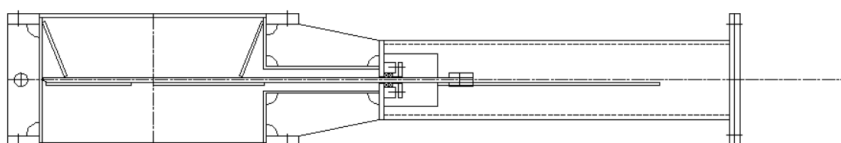
【WA-DS型】

■ 特長

ガスや粉体などを遮断するために使用されます。全開時は他のダンパと異なり、流路に障害物がないため、流体がスムーズに流れることができます。



スライドゲートダンパ(軸シールタイプ)



スライドゲートダンパ(弁体シールタイプ)



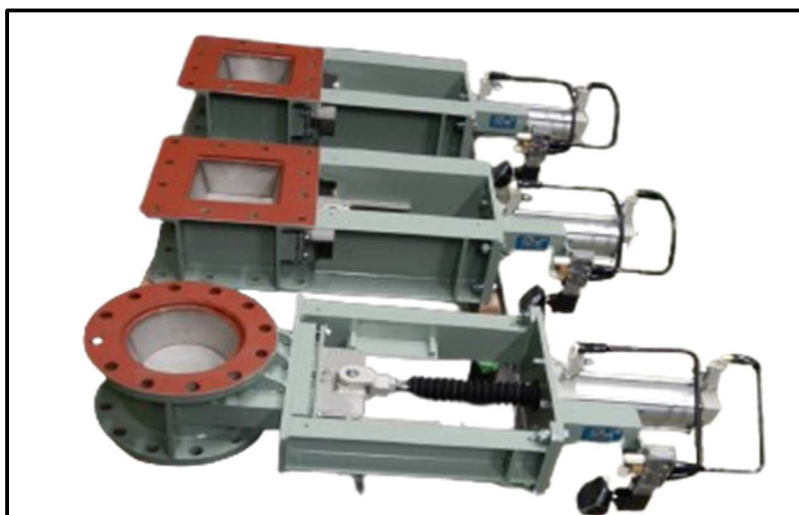
空動式スライドゲートダンパ(手動ハンドル付)



空動式スライドゲートダンパ



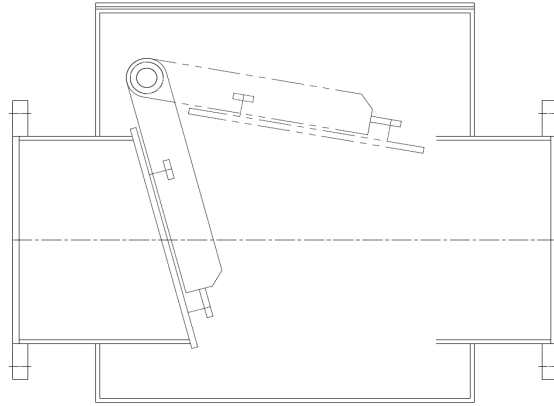
手動式スライドゲートダンパ



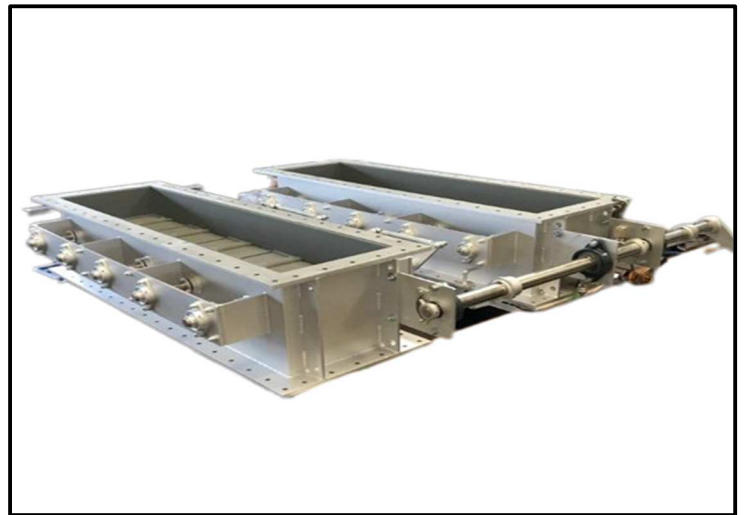
空動式スライドゲートダンパ

チャッキ型
逆止ダンパ
【WA-DC型】
■ 特長

ガスや空気などの逆流防止のために使用されます。流体の圧力で全開となり、カウンターウェイトや弁体の重みで全閉となる構造です。



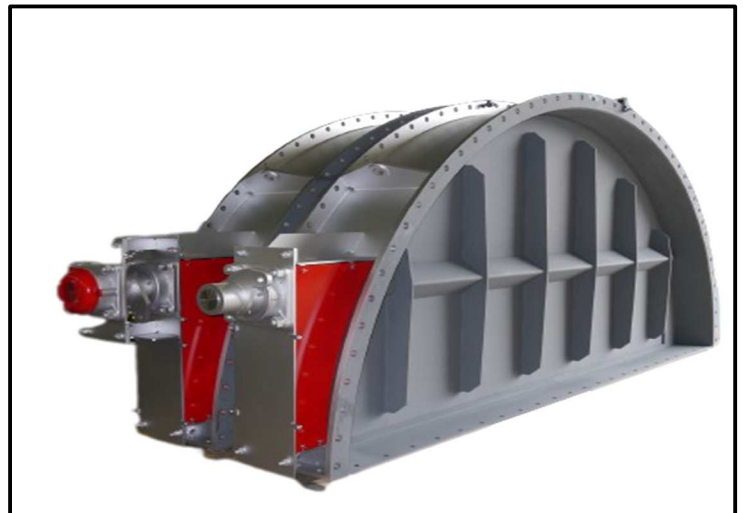
逆止ダンパ



2連式ダンパ



吸気弁



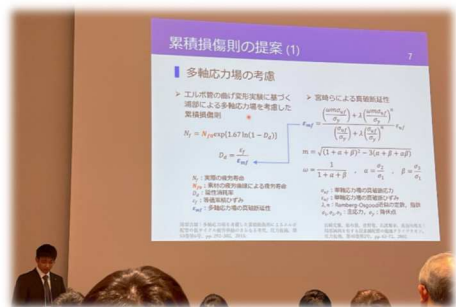
大口徑バタフライバルブ(分割納入)

管路防災研究所

日本初の管路に特化した防災研究所として2022年11月、関西文化学術研究都市〔京都府精華町〕に開設。管路耐震防災システムの研究開発拠点として、また企業内「ライフライン地震工学」の学舎として、さらには社内外研究員や産官学連携、交流と共創の場として活動中です。



防災研究の取組み事例 能登半島地震の災害現場から

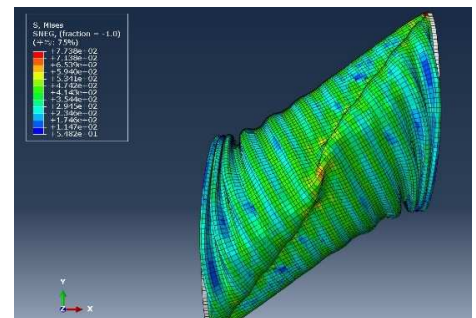


災害
現地調査



実大/模型
実験

数値解析
理論構築



研究発表
製品開発

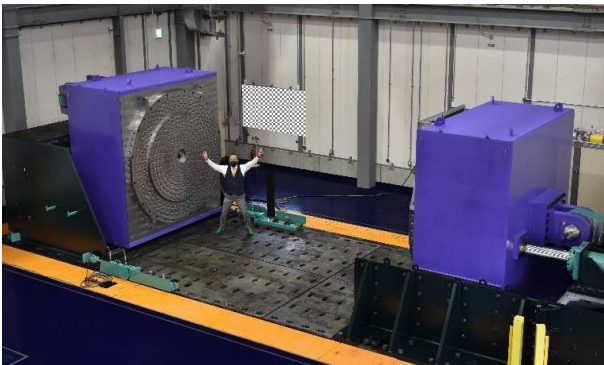
珠洲市での水管橋脱管被害を模擬した
ベローズによる断水回避シミュレーション

管路防災研究所

NEURON管防研の役割、使命は「実物大実験」と「研究員育成」です。『大変位耐震試験機』を設備し、管路の防災技術開発に邁進します。また、ライフライン地震工学の専門家、小池武先生(元京都大学大学院教授)をお招きし、若手研究員育成カリキュラムによる学びの場として様々なアイデアの創出拠点を目指します。

実物大実験

～ 性能評価 ～



大変位耐震試験機“PurpleMonster”



作動実験後の視察風景

研究員育成

～ 交流と共創 ～

項目	No.	タイトル	内容
概説	1	ライフライン地震工学の歴史	ライフライン地震工学の発足から現在に至る経緯
地震被害と地震荷重	2	パイプラインの地震被害	地盤震動、地盤液化化、断層変位、地滑り
	3	設計地震荷重の決定法	地震荷重 (Mwから設計加速度応答スペクトル)
構造設計入門	4	構造設計法発展の歴史	許容応力度法、限界状態設計法、信頼性設計法、性能設計法
管路耐震設計法	5	管路耐震設計法1	応答変位法の基礎
	6	管路耐震設計法2	管路の耐震設計法、日米設計法比較
	7	管路耐震設計法3	すべり設計法(直管、異形管)
	8	管路耐震設計法4	地盤変位に対する耐震設計法
	9	高圧ガス導管の耐震設計法	高圧ガス導管(地盤震動耐震設計、液化化耐震設計)
水道管耐震設計法	10	水道施設の耐震設計法	水道施設耐震工法(機械式継手と一体式継手)
	11	伸縮管可換管継手の耐震設計法	伸縮継手の設計法(地上は力、地下は変位)
性能設計入門	12	性能設計法	性能設計法とは何か?

ライフライン地震工学の主なカリキュラム



特別講師によるセミナー風景



管路防災研究所 全景

日本ニューロン株式会社

NEURONのコア技術—— 製造本部は、匠技法と自社創作設備による製管・成形・接合の“極”塑性加工。

そして設計解析・研究開発を司るエンジニアリング本部は、管路・管体の設計・解析・開発です。

～製品 《製管・成形・接合》～

- ☆伸縮可撓管 伸縮管継手
EXPANSION JOINTS(METAL、FABRIC)
- ☆ベローズ/フレキシブルチューブ
BELLOWS
(HEAT EXCHANGER、ULTRA VACUUM)
FLEXIBLE TUBE
- ☆特殊径長尺パイプ
METAL PIPE -SPECIAL SIZE-
(Hi-Alloy&Titanium&Aluminium)
- ☆ダンパ(大口径バルブ)
DAMPER(LARGE SIZE VALVE)
- ☆液圧バルジ成形品/特殊压力容器
By HYDRO FORMING.
SPECIAL PRESSURE VESSELS

自社開発の ベローズ&フレキ成形機



社長賞受賞
連続自動液圧フレキ成形機
【Bowman】



ニューロン・マイスター作
強力型内圧ロール成形機
【MIGHTY RYAN】

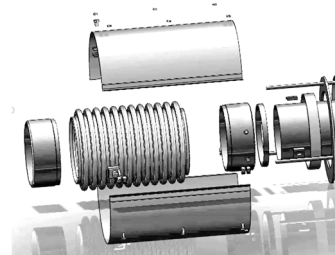


世界最大級 液圧ベローズ成形機
【SUPER HULK】

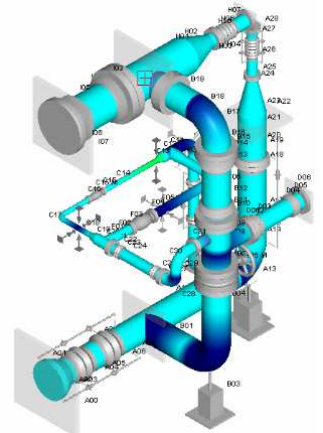
～サービス 《設計・解析・開発》～

- ☆構造設計
2次元、3次元(AutoCAD SOLIDWORKS)
- ☆応力解析
FEM解析(Abaqus) 配管用(AutoPIPE)
- ☆金属分析
成分・組織 (Alloy Analyzer、Ferrite Scope)
- ◎「評価事業」
各種試験(強度・荷重・疲労)
安全性照査(限界、危機耐性)
- ◎「現地事業」
既設管路・設備等の耐震補強
及び補修・取替、調査・診断

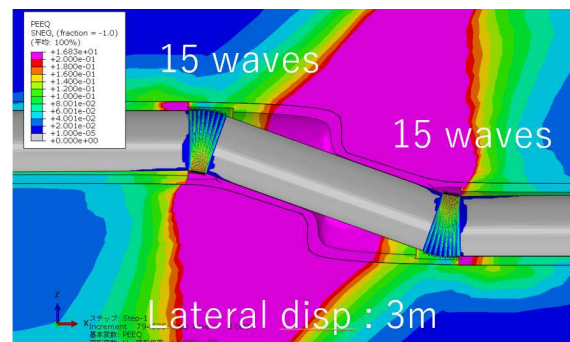
先進充実の 設計解析システム



3次元 CAD
【SOLIDWORKS】



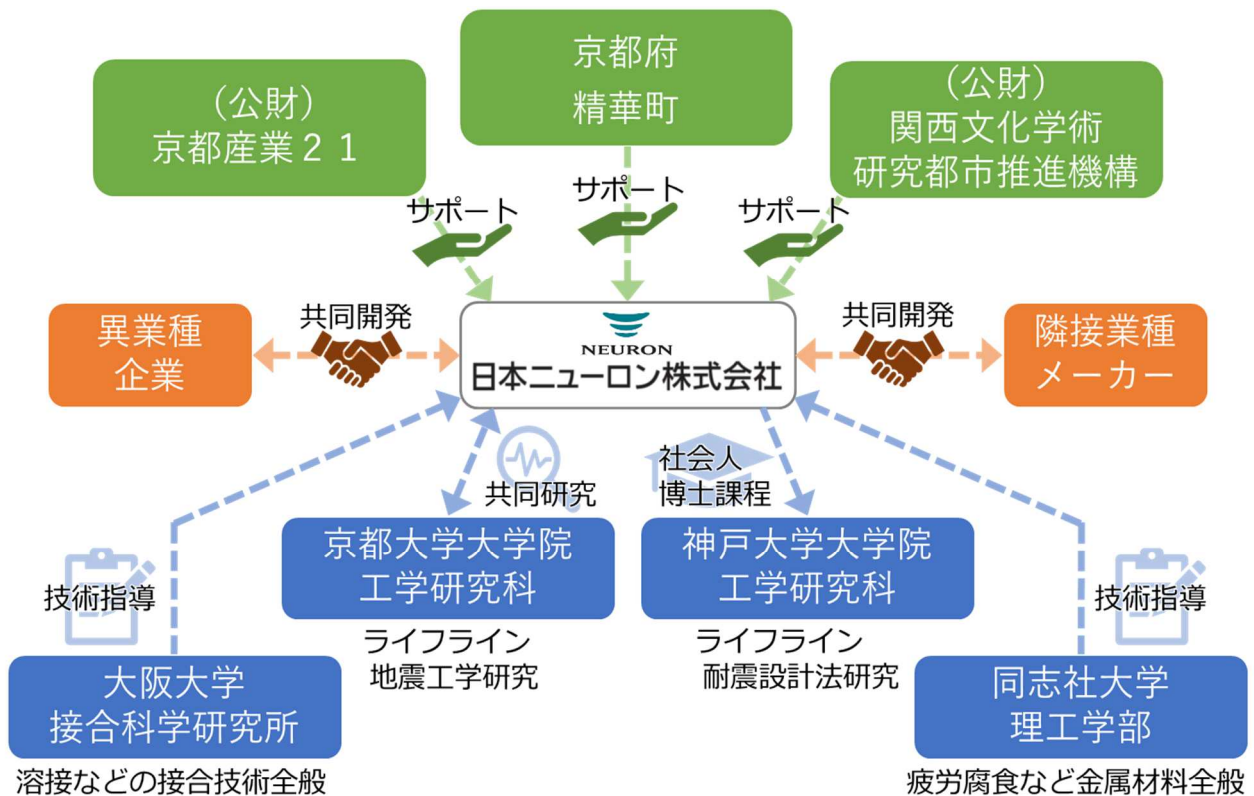
配管応力解析
【AutoPIPE】



日本ニューロン株式会社

2007年7月、けいはんな学研都市への移転により、研究開発に注力するNEURONは、産官学連携を加速させました。
以来、いくつかのSEEDS〔種：研開ネタ〕を見つけ、たしかなFRUITS〔果実＝製品＆サービス〕を生み出して参りました。

～産官学連携 <R&D>～



本社・けいはんなラボ〔工場含む〕 全景

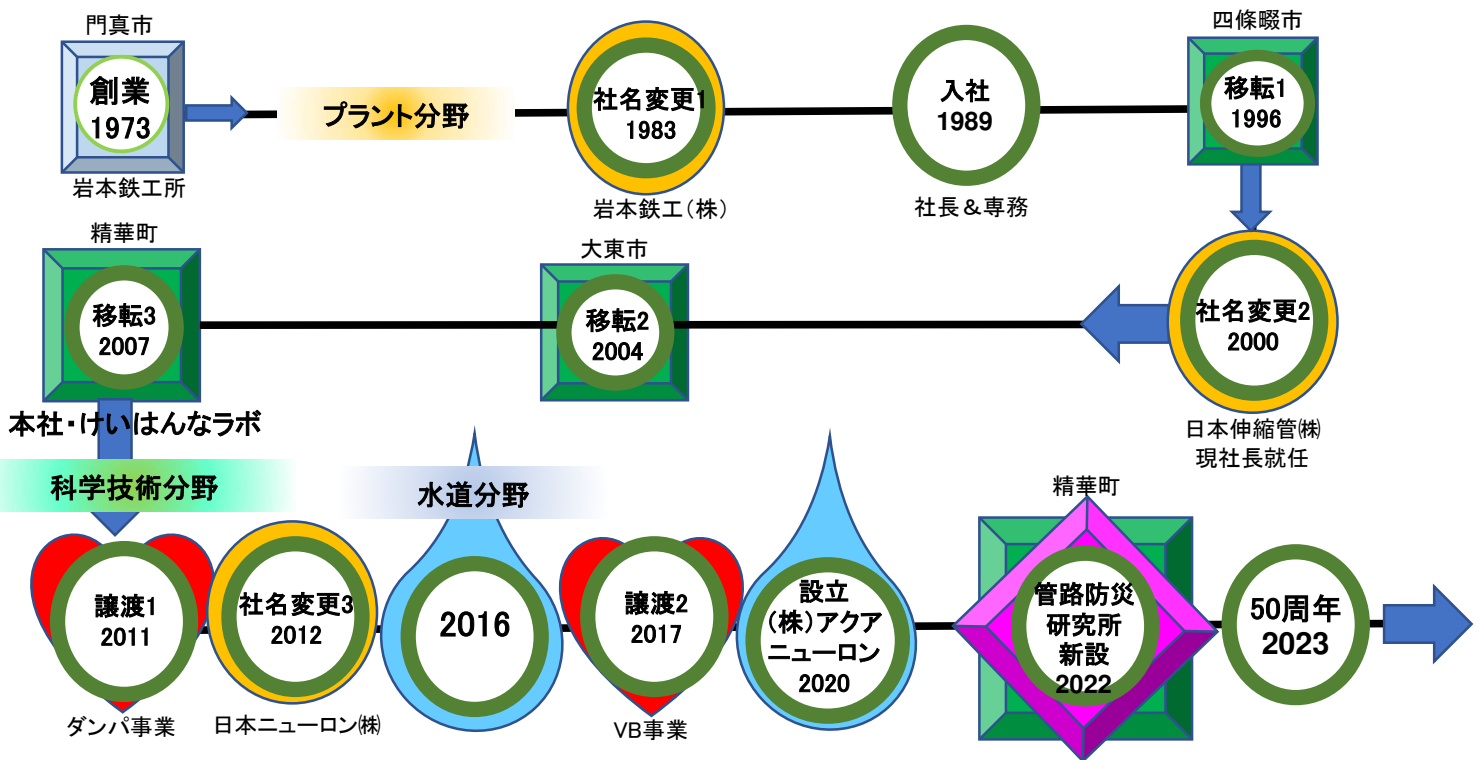


日本ニューロン株式会社

～ 社名由来 «ニューロンのように» ～

神経細胞【neuron】のような 究極のパイプラインシステム創製に貢献したい。

沿革



☆加盟団体

- ・〔一社〕日本水道工業団体連合会
- ・〔公財〕水道技術研究センター
- ・〔公社〕日本水道協会
- ・〔公社〕日本下水道協会
- ・〔WSP〕日本水道鋼管協会
- ・〔SDF〕SDF技術協会
- ・〔一社〕日本塑性加工学会
- ・〔一社〕配管技術研究協会
- ・〔一社〕火力原子力発電技術協会
- ・〔一社〕大阪府溶接技術協会
- ・〔公社〕日本表面真空学会

☆工場認定、製造許可

- ・日本水道協会 検査認定工場
- ・消防法 危険物可撓管継手性能評定【総務省】
- ・電気事業法 溶接管理プロセス認証【経産省】
- ・電気事業法 溶接認可【経産省】
- ・高圧ガス保安法 溶接施工法認可【経産省】
- ・第一種圧力容器 製造認可【厚労省】
- ・ボイラー容器 製造認可【厚労省】
- ・日本海事協会 ClassNK船用機器使用承認
- ・エコアクション21
- ・ISO 9001(JIS Q9001) 【NKKKQA】

(順不同)

日本ニューロン株式会社

☆社 是 Be Comfortable !

～こころよく、こちよく～

☆品質方針 SPEED & SAFETY

「品質とコストのベストバランスを実現した製品やサービスを
迅速かつ安全を以って、永続的に創出する」

☆企業理念

◎基本理念

NEURONは、夢・感動を呼ぶ製品とサービスで、
世界一幸せな会社を目指します

◎経営理念

社員満足が顧客感動に直結する！

◎行動理念

- 励行八則
 - “少年力”を発しよう！ — 変化に挑もう！
 - “準備力”を高めよう！ — ビジョンを語ろう！
 - “工夫力”を活かそう！ — 輪(和)を広げよう！
 - “完遂力”でやり切ろう！ — 幸せを感じよう！
- 自戒三則
 - それは無礼な行動ではないですか？
 - それは愚かな行動ではないですか？
 - それは卑怯な行動ではないですか？

☆ニューロン丸 コミットメント

～“船長”から“乗組員”へ～

報酬 と 厚生
やりがい と いごち

◎経営志向

- ・経営哲学：『鬼手仏心』
- ・経営流儀：『公平に、とにかく公平に』
- ・経営主義：『性“弱”説』と『性“適”説』
- ・座右の銘：『愛、運、縁、恩』

～人間力を高める “あい、う、え、お”を大切に生きる～

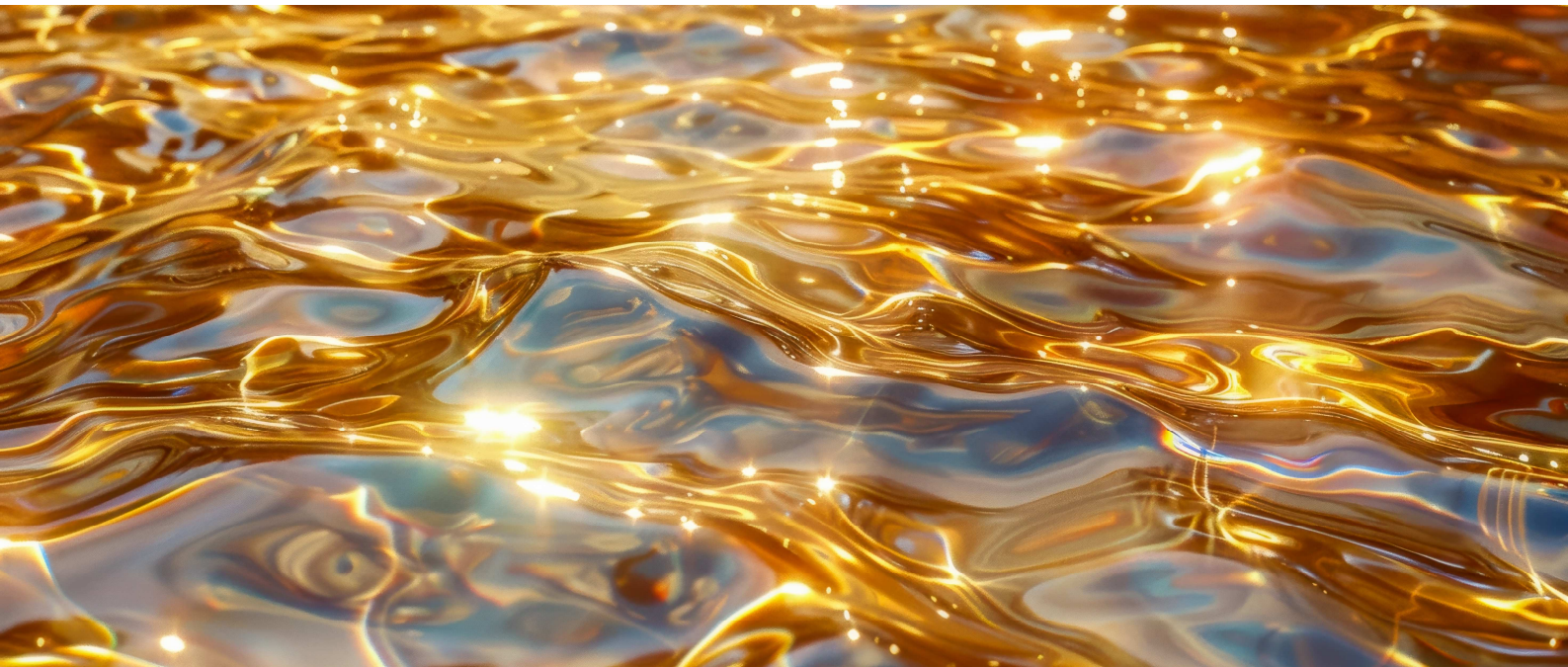


けいはんなサウ斯拉ボ『管路防災研究所』

NEURON PIPELINE RESILIENCE LABORATORY

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台2-2-5

TEL (0774) 95-3900 (代表)



日本ニューロン株式会社

NEURON JAPAN CO.,LTD.

〒619-0237 京都府相楽郡精華町光台3-2-18

TEL (0774) 95-3900 (代表)

<https://www.neuron.ne.jp> E-mail : info@neuron.ne.jp

東京オフィス :

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-10-7

TEL (03) 3446-5565 (代表)

大阪オフィス :

〒530-0028 大阪府大阪市北区万歳町3-12